



『第43回小中学校音楽発表会』

11月20日(火)、中央公民館にて「第43回大崎町小中学校音楽発表会」が開催され、町内の小中学校に通う児童・生徒が様々な楽器を使いながら、リズムに乗せて日ごろの練習の成果を発表しました。

会場には、演奏を楽しみにしていた地域住民や保護者も駆けつけ、立ち見ができるほどの観客を集めました。

演奏は、和太鼓・木琴・鉄琴・ハーモニカなど様々な楽器を使った合奏から、中学生による合唱まで、自分たちの力を十分に発揮し、会場にはいつまでも拍手が鳴り響いていました。

『第6回奄美を描く美術展にて入賞』

11月3日から24日まで、奄美市の田中一村記念美術館で開かれた「第6回奄美を描く美術展」にて、全国から応募された163点のうち入賞した63点が展示されました。

大崎町から入賞したのは、浜田真喜子さん(文化通り)の墨彩画、篠原智子さん(宮之馬場)の日本画で、中でも浜田真喜子さんの作品は、優秀賞にあたる「アマンデー賞」を受賞しました。

海辺の風景を描いたこの作品は、光と影の表現が巧みで、存在感のある表現となっています。



るまでの苦労や喜びを話され、子ども達は目を真ん丸くしながら聞いていました。

講演のあと、グラウンドに出て、守備のコツやバッティングの基礎を、実際にバットやグローブを使いながら丁寧に教えてくれました。

赤田選手は子ども達に「自分の夢を叶えるために努力すれば、いつかは夢は叶うもの。夢をあきらめずに頑張ってください」と話されました。

教室が終わったあと、赤田選手の周りには、サインを求める人ばかりができていました。



『子どもに夢を与える大崎町の先輩』

大崎町出身のプロ野球選手で西武ライオンズの選手会長でもある赤田将吾選手が、12月2日(日)、母校の大崎中学校を訪れ、ソフトボール教室を開催しました。

教室には曾於地区でソフトボールを頑張っている小学生と、赤田選手の後輩にあたる大崎中野球部合わせて約200名が参加し、その周りには赤田選手を一目見ようと、保護者やソフトボール関係者、野球関係者160名が押し寄せました。

教室では、赤田選手が中沖ソフトボール少年団の頃の思い出や、中学校・高校時代の経験、プロ野球に入

